

寄稿

あおいコンサルティング社長

山本 昌幸



1990年11月、ISO9001 (道路交通安全システム)システムの国際規格(ITSMS)が発行される。

ISOという思い浮かぶのが9001 (品質マネジメントシステム)とI4001 (環境マネジメントシステム)だ。39001は、重傷事故と死亡事故を無くすための規格であり、交通事故削減の先進国であるスウェーデンの提案により策定が始まった。

9001・I4001では、ラベンス目的やターゲットの目的で認証取得する運送事業者も少なからずいたが、39001は重傷・死亡事故を防ぐという成果が出なくては意味がない。また、適切に3900

# 9001・I4001と類似性が高い

1の仕組みを構築し、全社員が一丸となり取り組めば、必ず成果の出るマネジメントシステムといえる。39001策定の議定国であるスウェーデンを訪問した際の担当者からの聞き取りを基に注意点を幾つか説

明する。  
まず、9001・I4001をよく理解すること。39001は9001・I4001との類似性が非常に高く、これらの規格を理解していないと成果が出る仕組みを構築できない。

## 事故防止必ず成果出る

ことであり、非常に重要だ。運送業関連諸法令の完全順守が求められる。この考え方はI4001が非常に参考になる(運送業関連諸法令には労働基準法も当然含まれる)。  
また、次は私見だが、運

次にロゼエ管理が重要となる。39001は「適切なロゼエのこの結果を導くこと」が重要で、決して「結果さえ良ければO.K.」ということではない。

さらに、法令順守は当然

輸安全マネジメントとの整合性を意識すること。運輸安全マネジメントと39001は同一ではないが、類似性が高く、目的はほぼ同じだから仕組みは統一したいところだ。その意味からも運輸安全マネジメントを

含めた39001にすべきと起っている。  
近い将来、荷主企業から39001認証取得の要求があると予測され、荷主企業自身が認証取得することも考えられ、運送事業者としては積極的に取り組

## 全社一丸で取り組み 荷主から取得要求も

みたい。今までも、9001・I4001等の認証取得要求を出した荷主企業も多々あるが、それは荷主企業からみた管理のための要求といえる。39001の場合、荷主企業からみた事業者管理はもちろんで、社会的要求が含まれているので、コンプライアンス(法令順守)重視の荷主企業は協力企業である運送事業者に39001認証取得を要求することは、自然の流れかもしれない。  
(ISO9001・I4001主任審査員、社会保険労務士、行政書士)